

ユニットケアは現場がつくり、変えていく

気づきを築くユニットケア全国実践者セミナー in 北海道

「家庭的な個別ケア」の追及から生まれたユニットケアの取り組みは、国の高齢者介護施策の中核的な存在となり、多くの施設職員の関心を集めています。

第4回となる今回のセミナーでは、「ユニットケアは現場がつくり、変えていく」という現場主導の視点をテーマに、現場に根ざした多くの報告を通して、悩みや失敗からの「気づき」や、「気づき」による変化、課題、新たな取り組みについて考えていくことにしました。

ユニットケアに取り組もうとしている施設のみなさん、また、日々悩み、試行錯誤しながらユニットケアに取り組んでいる現場のスタッフのみなさん、北海道で出会い、共に語り合いませんか！！

※日 時 2004年7月26日（月）～27日（火）

※会 場 札幌コンベンションセンター

〒003-0006 北海道札幌市白石区東札幌六条1-1-1

TEL:011-817-1010 URL:<http://www.sora-scc.jp>

※主 催 「気づきを築くユニットケア全国実践者セミナー in 北海道」実行委員会

※共 催 特養・老健・医療施設ユニットケア研究会
北海道社会福祉協議会

※定 員 1,000人

※参 加 費 15,000円（当日資料含む）

※特養・老健・医療施設ユニットケア研究会交流会員につきましては
1会員1名様のみ14,000円となります。

※懇親会費 7,000円

※申込み締切り 2004年6月30日（水）

< 内容 >

1日目：7月26日（月）札幌コンベンションセンター、札幌産業振興センター

時 間	内 容
11：50～12：00	開 会（各分科会会場にて）
12：00～14：00	実践報告リレー 第1部
14：00～14：15	休 憩
14：15～16：15	実践報告リレー 第2部
16：15～16：30	休 憩
16：30～18：00	実践報告リレー 第3部
19：00～21：00	懇 親 会

2日目：7月27日（火）札幌コンベンションセンター

時 間	内 容
9：30～9：50	開 会
9：50～10：50	「ユニットケアのケアとは何か」 ～ユニットケア研究会ケアプラン部会緊急経過報告～ 季刊・痴呆性老人研究 編集長 泉田 照雄
10：50～11：50	「ユニットケアの原点『小規模多機能ケア』から学ぶ」 東北福祉大学総合福祉学部 教 授 高橋 誠一
11：50～12：00	研究報告「最近のユニットケアの動向」 特養・老健・医療施設ユニットケア研究会 研究員 島田 聡
12：00～13：00	昼 食
13：00～14：50	「北の国から2004～どうしている、どうしたい、北海道からの発信～」 パネラー 北海道老人福祉施設協議会 研修委員 清水 修一 北海道デイサービスセンター協議会 会 長 大久保幸積 北海道老人保健施設協議会 （調整中） 北海道痴呆性高齢者グループホーム協議会 副会長 長井 卷子 サポーター 特養・老健・医療施設ユニットケア研究会 代 表 武田 和典 厚生労働省老健局 （調整中） コーディネーター 北海道ユニットケア推進会議 （調整中）
14：50～15：00	閉 会

【分科会のご案内】

テーマ

第1部門	私たちのはじめたユニットケア 悩みと失敗から【初級編】 ユニットケアに取り組むことになったきっかけ、取り組みの中で悩んだこと、失敗から学んだことなど、取り組み初期の実践報告。
第2部門	暮らしづくりから見えてきたユニットケア 悩みと失敗から【中級編】 ユニットケアに取り組むことで見えてきた施設のあり方や今後の課題についての実践報告。
第3部門	住まいづくりから見えてきたユニットケア【住環境編】 ユニットケアの実践から生まれた既存施設や新設施設での住環境の工夫についての実践報告。
第4部門	ユニットケアの暮らしをつくるスタッフの気づき【教育・研修編】 ユニットケアで重要な役割を持つスタッフの気づきを大切にする教育や研修など育成に関する実践報告。
第5部門	ユニットケアをよりよくするための支援【スーパーバイズ編】 スタッフと各ユニットの取り組みをよりよくするためのスーパーバイズの悩みや失敗、あり方、今後の課題に関する実践報告。
第6部門	ユニットケアにおけるマネジメントの実際【組織と運営】 ユニットケアに取り組むことによって変化した組織体制や経営、運営についての実践報告。
第7部門	地域に出て行く・地域に暮らす【逆デイノ小規模多機能ケア・地域サテライトケア編】 逆デイなど施設から地域へ出ていく取り組みや、地域に住み残りたいという願いに応える地域サテライトケアなどについての実践報告。

時間割

時間 会場	第1部	第2部	第3部
	12:00～14:00	14:15～16:15	16:30～18:00
I	A(第1部門)	B(第1部門)	C(第1部門)
II	D(第1部門)	E(第1部門)	F(第1部門)
III	G(第1部門)	H(第1部門)	I(第1部門)
IV	J(第1部門)	K(第1部門)	L(第2部門)
V	M(第2部門)	N(第2部門)	O(第2部門)
VI	P(第2部門)	Q(第2部門)	R(第2部門)
VII	S(第2部門)	T(第2部門)	a(第5部門)
VIII	U(第3部門)	V(第3部門)	b(第6部門)
IX	X(第4部門)	Y(第4部門)	Z(第4部門)
X	c(第7部門)	d(第7部門)	e(第7部門)
XI	W(第3部門)	f(第7部門)	g(第7部門)

ポスター展示は、7月26日(月)11:30～19:00、7月27日(火)9:00～15:00を展示時間とします。なお、7月26日16:30～17:30は質問対応時間とします。

7月26日（月）実践報告リレー報告一覧
【ステージ報告】

部門	分科会	No	施設名	都道府県名	施設	発表テーマ
第1部門	A	1	更科ホーム	千葉県	特養	「ユニットケアのソフトから～取り組んで1年」
		2	シエステやまの花	群馬県	特養	「田舎の生活をそのままに」
		3	ひまわり	北海道	老健	「“出来ることから始めよう” ひまわりのユニットケアを実践して」
		4	ゆうとびあ	熊本県	特養	「私たちのはじめたユニットケア - 悩みと失敗から - 」
	B	5	芦別慈恵園	北海道	特養	「芦別慈恵園におけるユニットケアへの挑戦」
		6	同和園	京都府	特養	「何から始める！？ユニットケア・ ～職員の意識改革からの変化～」
		7	花みづき寮	群馬県	特養	「初めてのユニットケア ～施設看護師1年生」
		8	ジョイフル江南	愛知県	特養	「ユニットケア、はじめの一步。」
	C	9	みどりの郷 福楽園	東京都	特養	「ユニットケア導入1年」
		10	能登川園	滋賀県	特養	「能登川園で取り組み出したユニットケア」
		11	清輝苑	埼玉県	特養	「ユニットにおける End of life care」
	D	12	鳳鳴苑	富山県	特養	「温かい、心の通ったケアを目指して」
		13	北中城 若松病院	沖縄県	医療	「私たちのはじめたユニットケア 悩みと失敗から」
		14	豊寿園	高知県	特養	「平均介護度4.25で始めたグループケア」
		15	田代台病院	山口県	医療	「精神科療養病棟でのユニットケア」
	E	16	桜山荘	沖縄県	老健	「ユニットケアを導入して」
		17	旭泉苑	北海道	老健	「痴呆グループケアユニット開設から一年を振り返って」
		18	片岡杉の子園	静岡県	特養	「私たちのはじめたユニットケア・ ～悩みと失敗から～」
	F	19	星の里	広島県	特養	「ユニットケアに出会ってから暮らし」
		20	高瀬町立西香川病院	香川県	医療	「デイケアにユニットを取り入れて」
		21	シオンの園	宮城県	特養	「ユニットケアとは？」
	G	22	北の峯ハイツ	北海道	特養	「グループケアに向けての課題」
		23	双樹園	三重県	知的	「通所介護事務所におけるユニットケアへの取り組み・ ～利用者本位の個別支援へ～」
		24	たいせつの郷	北海道	特養	「新型特養増築で始まったユニットケア導入の経過と課題」
		25	薫風会	愛知県	特養	「ユニットケアの現状をみつめ問題点を探る～入居者と職員の面～」
	H	26	旭川緑苑	北海道	特養	「今できることは…。施設内逆デイの実践について」
		27	ヴィラ山科	京都府	特養	「“その人らしい生活”の実現に向けて・ ～ユニットケア導入までのてんやわんや～」
		28	シルバーケア悠々	沖縄県	老健	「んみゃ～ちユニットケアへ」
	I	29	ジョイフル各務原	岐阜県	特養	「新しいケアプランへのとりくみ・ ～生活みてたらこうなった～」
		30	与勝の里	沖縄県	デイ	「私たちのはじめたユニットケア 悩みと失敗から」
		31	博水の郷	東京都	特養	「ケアプランの実践から見てきたユニットケア」
	J	32	清谿園	鹿児島県	特養	「寄り添うケアを深めてゆく中での悩みと失敗」
		33	緑陽園	北海道	特養	「モデルユニットケアを実践して」
		34	グリーンヒル	千葉県	特養	「私たちのはじめたユニットケア」
		35	ひだまりの里	鹿児島県	特養	「排泄ケアについて」
	K	36	さるふつやすらぎ苑	北海道	特養	「猿払やすらぎ苑 小規模特養だから出来る『一家団楽ケア』の始まり」
		37	ファミリーケアサービスすこやか横手	秋田県	特養	「ユニットケアにつながった、看取りと家族の思い」
		38	上川町特別養護老人ホーム大雪荘	北海道	特養	「今、私達ができることは...？/大雪荘のユニットケアへの取り組みについて」
第2部門	L	39	幸栄の里	北海道	特養	「幸栄の里のユニットケアが進化し続けるためには」
		40	きのこ荘	岡山県	特養	「穏やかに生活できる場とは」
		41	若楠療育園	佐賀県	重身	「暮らしづくりから見てきたユニットケア」
	M	42	ブライムヘルシータウン湘南	北海道	老健	「より良いユニットケアの模索と現状の課題・ 今後の方向性について」
		43	御前山フロイデガルテン	茨城県	特養	「新設ユニットケア施設・ 入所者と暮らした3年間から見てきたもの」
		44	きのこ荘	岡山県	特養	「ユニットケアにおける食の関わりを求めて」
		45	くわのみ荘	熊本県	特養	「調理スタッフが変えるお年寄りの幸せ、職員の幸せ」
	N	46	双樹園	三重県	特養	「ユニットケアを行っていく上で本当に大事なことは何か」
		47	きのこ老人保健施設	岡山県	老健	「I Love ジャイアンツ。」
		48	下田苑	鹿児島県	特養	「短期入所生活利用者と入所者との合同ユニットのあり方」
		49	とそ清風園	鹿児島県	特養	「あれから2年が経過しました。3年目の現状、これからやりたいことを報告します。」

【施設種別】特養：特別養護老人ホーム、老健：老人保健施設、医療：医療施設、デイ：デイサービス、GH：グループホーム、
重心：重度心身障害児・者施設、知的：知的障害児・者施設、小規：小規模多機能ホーム

部門	分科会	No	施設名	都道府県名	施設	発表テーマ
第2部門	O	50	プライエム横尾	長崎県	特養	「共に暮らすということ・ ～第2の家族・家庭を目指して～」
		51	健生園	岡山県	特養	「既存の施設で取り組んできたこと」
		52	ひろた	愛媛県	特養	「介護サービスから生活サービスへ」
	P	53	サクラ	長崎県	老健	「ユニットケアの理想とのギャップに悩んで」
		54	あたかの郷	石川県	特養	「楽しく、ゆっくり、気持ちよく・ ～ショートステイが取り組むお客様らしい“すごし”～」
		55	レインボー今里	大阪府	特養	「『ゆとりの会』を通して入居者の生活を考える」
		56	きのこ老人保健施設	岡山県	老健	「年よりは食べることが一番の楽しみです」
	Q	57	平成園	秋田県	特養	「めぐりあえてありがとう・ ～教えてもらった宝物～」
		58	幸楽園	北海道	特養	「ユニットケア導入の1年を振り返る・ ～新たな暮らしに挑戦して～」
		59	木見光の里	岡山県	GH	「笑顔が見えた」
		60	きのこ老人保健施設	岡山県	老健	「心の叫び 関わらなければ見えない思い」
	R	61	鷹栖さつき苑	北海道	特養	「集団的な給食から、我が家の食卓を目指して・ ～栄養士としてのユニットケアへのかかわり～」
		62	せんだんの杜	宮城県	デイ	「デイサービスセンターにおける個別ケアへの挑戦」
		63	やまゆり苑	島根県	特養	「1人の方を大切に、見えてきたこと・ ～御本人、御家族、職員それぞれの思いと変化」
	S	64	足立新生苑	東京都	特養	「暮らしづくりから見えてきたユニットケア ～悩みと失敗から～」
		65	笑美の里	三重県	特養	「『ほんまもん地域福祉』プロジェクトの設立を通して」
		66	きのこ老人保健施設	岡山県	老健	「島へ帰りたいんじゃ」
		67	輪中の郷	愛知県	特養	「大型特養からユニットケアに移行している気づきました」
	T	68	きのこ老人保健施設	岡山県	老健	「心からの笑顔が見たい」
		69	鷹栖さつき苑	北海道	特養	「聞けない声を感じる為に」
		70	寿海荘	山口県	特養	「暮らしづくりから見えてきたユニットケア」
		71	せんだんの杜	宮城県	特養	「寄り添うことの色んなカタチ」
第3部門	U	72	有吉病院	福岡県	医療	「高齢者への優しさが住環境になる」
		73	花みづき寮	群馬県	特養	「心が出会った場所 ～ノンちゃん奮闘記」
		74	晃の園	静岡県	特養	「清響 ～ハードのすべて～」
		75	やすらぎ荘	北海道	特養	「新型特養への全面改築移転を行って」
	V	76	大阪老人ホーム	大阪府	特養	「痴呆性高齢者への環境支援のための指針（PEAP）の取り組み」
		77	あたかの郷	石川県	特養	「キッチンができて見えてきたもの」
		78	美瑛慈光園	北海道	特養	「既存施設の挑戦・ ～できないからできる発想の転換～」
		79	きのこエスボアール病院	岡山県	医療	「関わりを生む環境作り・ ～作業療法士から見た環境設定～」
	W	80	松楽苑	島根県	特養	「既存施設で、くつろぎの居住空間を考える」
		81	ももやま	京都府	特養	「『施設』から『住まい』へ」
		82	幸豊ハイツ	北海道	特養	「環境ケアから気づかされたこと・ ～利用者・家族・スタッフとの信頼関係～」
第4部門	X	83	やまゆり苑	島根県	特養	「利用者さん同士の関係作りと環境への配慮」
		84	きのこ荘	岡山県	特養	「ユニットリーダー制廃止からの学び ～復活への夢～」
		85	なのはな苑	神奈川県	老健	「三大介護の見直し・ 自主的生活支援への試み」
		86	ぬく森	愛知県	特養	「たった一人のYさんへ・ ～ユニットケアを通して個別ケアへの取り組み～」
	Y	87	ハーモニーハウス	福島県	特養	「生活から始まったユニットケア」
		88	双樹園	三重県	特養	「環境づくりを通しての新人職員の意識変化について」
		89	祥水園	奈良県	特養	「ユニットの暮らしをつくるスタッフの気づき」
		90	Aザレアンさなだ	長野県	特養	「利用者の方の生活を継続するためのスタッフの気づき」
		91	新しいなば幸朋苑	鳥取県	特養	「ユニットケアで取り組む事故防止対策・ ～介護技術の統一～」
	Z	92	幸豊ハイツ	北海道	特養	「入居者がなごむ暮らしを大切にするスタッフ教育・ 研修について」
		93	白滝荘	山口県	特養	「『生きる』ってことを考えた時に・ ～病院ではなく、家でもなく～」
		94	いくの喜楽苑	兵庫県	特養	「介護単位の小規模化がケア及び入居者の生活を変える」
第5部門	a	95	なのはな苑	神奈川県	老健	「アセスメントをケアにつなげるために・ ～ケアプランを通してのスーパーバイズ～」
		96	幸豊ハイツ	北海道	特養	「幸豊ハイツ七変化 ～早く気づいて築きたい～」
		97	せんねん村	愛知県	特養	「気づく職員を育てるための関わり」
第6部門	b	98	同和園	京都府	特養	「ユニットケア・ 小規模生活単位型施設の運営課題」
		99	くわのみ荘	熊本県	特養	「新型特養1/2から見えてきた現実・ ～理念と経営の間で揺れる私～」
		100	研究会幹事施設・ たいせつの郷	北海道	特養	「地域で広げるユニット・ ケア『かみかわユニット・ ケア、サテライト研究会』のこの一年」

【施設種別】特養：特別養護老人ホーム、老健：老人保健施設、医療：医療施設、デイ：デイサービス、GH：グループホーム、
重心：重度心身障害児・者施設、知的：知的障害児・者施設、小規：小規模多機能ホーム

部門	分科会	No	施設名	都道府県名	施設	発表テーマ
第7部門	c	101	そよかぜ	北海道	G H	「生活の場から地域支援の場へ」
		102	同和園	京都府	特養	「（仮称）従来型特養での逆デイの取組み」
		103	せんだんの杜くにみ 国見の家	宮城県	小規	「子ども、大人、お年寄りが支えあうことの意味」
		104	双樹園	三重県	特養	「河崎商人の街並がみえるうち・～みなみ～」
	d	105	幸豊園	北海道	特養	「少人数で田舎暮らしを楽しむ」
		106	せんだんの杜かわだいら 川平の家	宮城県	小規	「一人の人を支えるために...サテライトと本体施設の協働」
		107	井伊掃部町デイサービスセンター	京都府	デイ	「ていねいなお付き合い ～京都発信の痴呆デイサービスとは～」
		108	孔子の里	熊本県	特養	「地域の一軒家を目指してその・～逆デイからみえてきたもの～」
	e	109	せんだんの杜なかやま 中山二丁目	宮城県	小規	「地域の中で、子どもを支えることから見えてきたこと」
		110	いずみの園	大分県	特養	「逆デイ『アウトデイサービス』を通して地域とのつながりを深める」
		111	きのこ老人保健施設	岡山県	老健	「おばあちゃんといっしょ」
	f	112	さかい幸朋苑	鳥取県	特養	「地域に学ぶ ～ふつうの暮らし、その人らしさとは～」
		113	虹	北海道	G H	「地域で普通に暮らすための支援をしたい」・～通えて、泊れて、住める家を～」
		114	せんだんの杜なかやま 中山二丁目	宮城県	小規	「寄り添い・支えることの気づき」
		115	せんだんの杜ものう	宮城県	特養	「デイサービスの実践で気づいたこと」
	g	116	鷹栖さつき苑	北海道	特養	「ユニットケアから地域で暮らし続ける～実感！小規模多機能は“通所”にありき～」
		117	虹ヶ丘	京都府	特養	「逆デイサービスの現状と課題」
		118	せんだんの杜なかやま 中山五丁目	宮城県	小規	「中山五丁目の家の実践から気づいた！地域で共に暮らすこと」

【ポスター展示・説明】

部門	時間	No	施設名	都道府県名	施設	発表テーマ	
第1部門	質問 応答 時間 ： 7 月 2 6 日 1 6 ： 3 0 ～ 1 7 ： 3 0	1	サン・グレイス	北海道	特養	「ユニットケアにおける問題点と対策及びその成果」	
		2	片岡杉の子園	静岡県	特養	「私たちのはじめたユニットケア・～悩みと失敗から～」	
		3	双樹園	三重県	知的	「通所介護事務所におけるユニットケアへの取り組み～利用者本位の個別支援へ～」	
		4	シルバーケア悠々	沖縄県	老健	「んみゃ～ちユニットケアへ」	
		5	緑苑	北海道	デイ	「こんなデイサービスでいいんかい...？したっけユニットケアかい？」	
第2部門		6	牧島荘	長崎県	特養	「入口は職員の都合で、出口は迷宮!?からの脱出Part2」	
		7	きのこエスポアル病院	岡山県	医療	「ユニットケアにおける作業療法の実践・～「こなす」から「こたえる」OTへ～」	
		8	ひだまりの家	秋田県	G H	「グループホームのケアについて」	
		9	ローマンうえだ	長野県	特養	「事例検討から利用者の暮らしづくりに取り組んで」	
		10	双樹園	三重県	特養	「ユニットケアを行っていく上で本当に大事なことは何か」	
		11	レインボー今里	大阪府	特養	「『ゆとりの会』を通して入居者の生活を考える」	
		12	きのこ老人保健施設	岡山県	老健	「家族の絆」	
第3部門		13	有吉病院	福岡県	医療	「高齢者への優しさが住環境になる」	
		14	きのこ老人保健施設	岡山県	老健	「家だったらゆっくり眠れるよ（逆デイでの宿泊）」	
第4部門		15	双樹園	三重県	特養	「環境づくりを通しての新人職員の意識変化について」	
		16	せんねん村	愛知県	特養	「尊厳を大切にすること」	
第6部門			17	さかい幸朋苑	鳥取県	特養	「介護の質 向上への運営完成」
第7部門			18	牧島荘	長崎県	特養	「入口は職員の都合で、出口は迷宮!?からの脱出Part2」
			19	双樹園	三重県	特養	「河崎商人の街並がみえるうち・～みなみ～」

申込みに関するお問合せ先

JTB法人営業札幌支店「ユニットケア全国実践者セミナー」デスク

〒060-0003 北海道札幌市中央区北三条西4丁目 日本生命ビルB1F

TEL:011(221)4800 FAX:011(232)5320 【受付時間:平日9:30～17:15】

内容に関するお問合せ先

実行委員会事務局:特養・老健・医療施設ユニットケア研究会 担当:萩原・大泉

〒981-0954 宮城県仙台市青葉区川平5-3-18-207 CLC東日本内

TEL:022-719-9249 FAX:022-719-9251

【施設種別】特養:特別養護老人ホーム、老健:老人保健施設、医療:医療施設、デイ:デイサービス、GH:グループホーム、
重心:重度心身障害児・者施設、知的:知的障害児・者施設、小規:小規模多機能ホーム